



ごみ減量できることから始めませんか

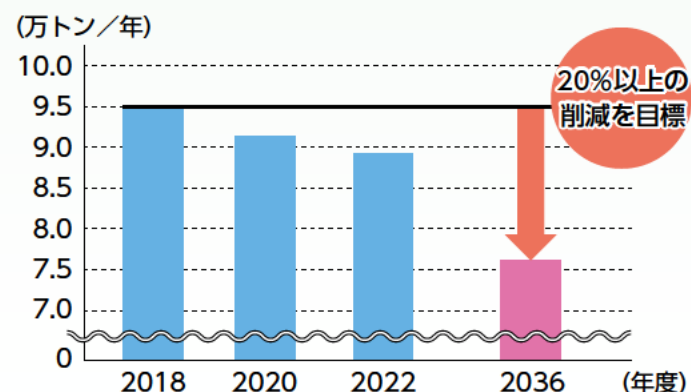
市は環境にやさしいまちづくりを進めており、ごみの大幅な減量を目指す「ゼロ・ウェイストあかし」への取り組みを始めています。みなさんもぜひご協力をお願いします。

明石市のごみ事情

お問い合わせ／資源循環課
(TEL)918-5794 (FAX)918-5793)

● 年間のごみ処理量は？

約8万9100トン(2022年度)
2036年度までに2018年度より、
20%以上のごみ減量を目標としています。

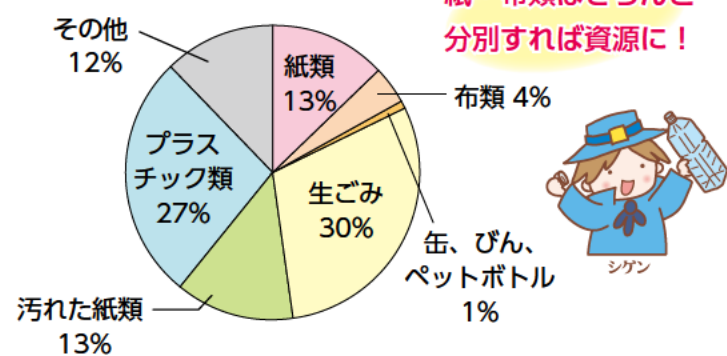


● 処理する費用は？

年間約35億円(2022年度) 1日あたり約970万円

内 クリーンセンターでの処分費用 約24億円
訳 収集・運搬の費用 約11億円

● 家庭ごみの種類は？



紙・布類はきちんと分別すれば資源に！



循環型社会をみなさんと一緒に

現在ごみ処理を担っている、明石クリーンセンターは稼働から20年以上が経ち、老朽化が進んでいるため、新しいごみ処理施設の整備を進めています。新しい施設では、安全・安心はもとより、環境保全に配慮し、地球温暖化対策に貢献するとともに、規模がコンパクトになるように計画しています。

そのためにもごみを減量する必要があります。ごみが資源となる循環型社会を目指し、紙やペットボトルはできるだけリサイクルするなど皆さんのご協力をよろしくお願いします。



環境部長
合田 和央

チャレンジ1 紙・服・ペットボトルをリサイクルしよう

紙類や衣類は、きちんと分別すれば「ごみ」ではなく貴重な「資源」となります。お住まいの地域の集団回収の日または、「紙類・布類の日」(*)に出してください。

紙類・布類の日に出してください

(※) 第1土曜日(明石川東地域)、第2土曜日(明石川西地域)
第3土曜日(大久保地域)、第4土曜日(魚住・二見地域)

雑誌・雑がみ



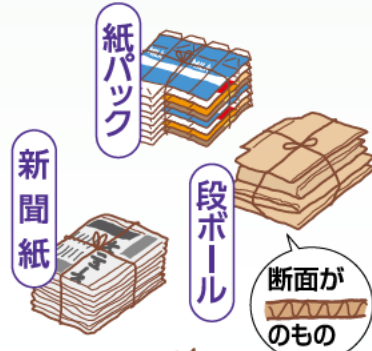
出し方

雑誌と一緒にひもでしばるか、紙袋に入れてしばってください



出せるもの

- ・お菓子や食品類の箱
- ・学校などのプリント類
- ・紙袋
- ・トイレトペーパーの芯
- ・パンフレット、カタログ
- ・ティッシュの箱(ビニール部分は燃やせるごみへ)



布類

きれいで再利用されるんだよ



準備を進めています！

紙資源の有効活用のため、段ボールや新聞、雑誌などの回収ボックス設置や機密書類のリサイクルサービス(事業者向け)の準備を進めています。

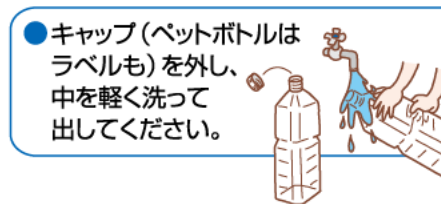
資源ごみの日に出してください



● 飲料用、食品用のもの

(空き缶は、1リットル缶程度の大きさまで)

回収日は、市東部は第2・4・5の水曜日、市西部は、第1・3・5の水曜日



● キャップ(ペットボトルはラベルも)を外し、中を軽く洗って出してください。

チャレンジ2 ごみになるものを減らそう

マイバッグ・マイボトルを持って行こう



食品ロスをなくそう

日本では、年間約523万トンの食品ロスが排出されており、その約半分は家庭から出ています。食品は必要な分だけ買う、食べ切れる量の料理を作るなど食品ロスを削減していきましょう。

フードドライブ

場所/市内コープ5店舗では常時寄付を受け付けています
寄付物品/お米、缶詰、調味料などで、1か月以上賞味期限があり、常温保存ができる未開封のもの



普段から無駄なものを買わずに長く使うことが大事だね

チャレンジ3 再利用(リユース)しよう

必要な人に使ってもらう

まだ使えるものは、リサイクルショップやフリーマーケット、フリマアプリなどを利用し、必要な人に使ってもらう方法もあります。



ゼロ・ウェイストあかし

ゼロ・ウェイストとは、ウェイスト(ごみ)をゼロにするという意味です

ごみ出しルールを守りましょう
ごみ出しで不明な点があれば、お気軽にお問い合わせください。
収集事業課 TEL 918-5780 FAX 918-5781

マイクロビーズ
クッションやまくらなどに入っているマイクロビーズをごみとして排出するときは
①ごみ袋を2重にする
②ごみ袋の中の空気を抜く
③見えるところに「ビーズ注意」の貼り紙を貼る
※粗大ごみとして排出する場合は、①～③の対応は必要ありません

リチウムイオン電池
スマートフォンやモバイルバッテリーなど、充電式の家電製品に使用されているリチウムイオン電池はごみとして出すことはできません。
▶リサイクルマークが表示されているもの
家電量販店やホームセンターに設置されている回収ボックスへ
▶マークが無いものなど
直接、明石クリーンセンターへ

粗大ごみ
45ℓのポリ袋に入らない大きさ、または、約5kg以上の重さのもの
インターネットで申し込む
1 インターネットは24時間OK!
電話で申し込む
電話で申し込む
粗大ごみ受付センター
(TEL)937-0937へ電話をかける。
2 粗大ごみ処理券(1枚300円)を申し込み後に確定した枚数購入する。
3 収集日当日(朝8時まで)に、粗大ごみ処理券を貼って申し込み時に決めた場所に出す。

神戸市と生物の多様性を守り育てるための協定を締結

両市は、里地や里山のほか複数の河川を共有しています。そこで育まれる豊かな生態系を守り、次の世代に引き継いでいくための連携・協力に関する協定を結びました。

共同開催のフォーラムも予定しています

協定書を交わした丸谷市長と久元神戸市長(2023年9月1日)

協定の主なポイント
在来の生態系に悪影響を与える外来種への対策
生物多様性に係る環境教育および人材育成
里地・里山・里海・河川などに生息する在来種の保全

神戸市主催 参加者募集 神戸市北区で開催/
里地里山を「知る」「触れる」
竹林整備の体験や竹工作、黒豆の収穫体験、ため池の生き物調査やイノシシ農の見学など
日時 11月11日(土) 12:30~17:30
場所 神戸市北区山田町
定員 10人程度
集合時間・場所 12:30神戸市役所1号館前 ※現地までバスで送迎します
申し込み・お問い合わせ
明石市環境創造課
(TEL)918-5786 (FAX)918-5586
11月5日締め切り・応募多数時抽選